

耐久高等学校同窓会報

耐久



彫刻家
橋本
和明氏
(高28期)
作



NO. 41

「Kanon — 時を渡る」
第102回二科展 ローマ賞受賞作品

ごあいさつ

同窓会長 大西義弘（高16期）



故郷やどあらを見ても山笑う

子規

早春の候 同窓会員の皆様には、お健やかに過ごしのことと存じます。

今年は戌年です。「戌」は植物が育ち、花を咲かせ、実をつけたあと実を落として、本体の木を守るという繁栄の意味があるようです。

このような自然の営みに学び、本年は常に前向きに事に当たり、良いことが次々に起こる年にしていくたいものです。

さて、昨年九月に同窓会総会が開催され、同窓会役員も新体制になり、早くも5ヶ月が過ぎました。十一月には、「きのくに学びの月間」として学校が開放されており、同窓会役員で母校を訪問しました。初めに白井敏之先生の案内で1・2・3学年の授業を参観しましたが、どの学級も教室はきれいに整頓され、熱心に、真剣にそして和気あいあいと授業が展開されており、役員一同感心致しました。授業参観後、笹井校長よりお話を伺いました。「耐久リバース」の学校改革の取り組みが着実に定着しているとのこと、再度感心致しました。

本年も、会員相互の親睦や旧交を温め、さらに「関東・関西・和歌山・有田耐久会」との交流をより深めて、楽しく、魅力ある同窓会となるよう努めて参りますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成29年度 同窓会総会開催

平成29年度同窓会本部及び有田耐久会総会が、9月17日午前11時から湯浅町地域福祉センターで70余名の参加を得て開催された。

第一部は耐久高校のマンドリン部が登場し、校歌ほか4曲を演奏。生徒達が奏でる姿や美しく澄んだ音色に、参加者一同うっとりとして聴き惚れた。

第二部は、大西会長、笹井校長の挨拶で開会した。大西会長からは、有田高女同窓会の活動中止や本校が所蔵している江戸末期からの蔵書を「耐久梧陵文庫」として整理した活動報告があり、今後母校を精一杯応援していきたいと語った。笹井校長は、前校長から取り組んでいる耐久リバースを継続する決意と、その成果は着実に上がっていると挨拶した。

続いて来賓の浦口高典県議（理3期）、中美二湯浅町副町長（高28期）、耐久リバースを支援する会、西博義代表（高19期）、関東耐久会、宮井

義和副会長（高25期）が紹介された。その後、議事に移り本部役員の改選では、副会長坂本美恵子氏（高18期）が退任され、池永義子氏（高21期）が就任された。

続いて有田耐久会総会が行われ、吉松敏隆会長（高19期）が退任され、新会長に和泉保廣氏（高22期）が就任された。和泉会長は、「2020年は浜口梧陵翁の生誕200年。何か取り組みができた」と、意気込みを語った。

最後に、耐久リバースを支援する会の西代表から「キャリアゼミ」について説明があり、「これは、社会の様々な分野で活躍する会員が、自らの『生き方』や『社会との関わり』等について講話していただく講演会なので、皆さんも是非講師になってください」と呼びかけた。

この後懇親会が持たれ、来賓の方々に挨拶を頂いた。有田高女の伏木富紀子氏（高女22期）の乾杯発声後、各テーブルで歓談が始まり、和やかに会員相互の旧交を温めた。

当日は、台風接近中の心配された天候だったが、穏やかな内に閉会した。



同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。（事務局）



交換留学のさきがけを成した男

テレビ和歌山の番組『知事と語る』に
数添泰弘先生が出演されていました。

昨年10月中旬、ペイルートからの帰り関
西空港のリムジンバスの乗り口で偶然に
も先生にお会いし、和歌山駅まで一緒さ
せて頂きました。イギリスの高校生一行を
迎えに来られたとのことでした。この高校
はロンドンの郊外にある創立445年の
名門の伝統校だそうです。いまだに耐久が
創立165年で県下でも一番の歴史を持
つ学校とちよっぴり自負していましたが、

さすがに大英帝国、女王さまの
国には到底かなわないと納得さ
せられました。

35年前に数添先生がわが母校で、県下
で初の海外の高校との姉妹校提携を実現
されました。

これまでに耐久高校と姉妹校合わせて
生徒約550名が交換留学を経験してい
ます。

耐久高校は今年も春休みに姉妹校のミ
ネソタ州ケンブリッジ高校を訪問するそ
うです。

若者が交流することにより、世界平和
を願う先生の熱意が受け継がれています。

2017年、日米協会の創立100周
年を記念して民間交流に長く尽くされた
人を顕彰するため『金子堅太郎賞』が創
設されました。第一回受賞者は日米から
それぞれひとり選ばれ日本側からは数添
先生が受賞されました。

先生は、この名誉ある賞を頂けたのは
耐久高校はもちろんのこと、湯浅町の国
際交流協会や有田地方の
皆様方のお陰だと言われ
ていました。

有田耐久会会長

和泉 保廣（高22期）

プロフィール

・数添泰弘氏（高15期）
・元耐久高等学校校長
・現和歌山外国語専門学校校長

平成 29・30 年度 本部役員名簿

役 職	氏 名	期
会 長	大西 義弘	高16
副会長	棚野 裕明	高18
副会長	池永 義子	高21
副会長	見矢 義夫	高21
副会長	神田 公子	高25
会 計	森 裕美	高26
常任幹事	坂本 康寛	高18
常任幹事	法眼 貞子	高19
常任幹事	野下 康雄	高23
常任幹事	和泉 保廣	高22
常任幹事	大浦 睦美	高28
常任幹事	弓場 守	高30
常任幹事	小畑 英三	高18
常任幹事	花野 正彦	定11
常任幹事	大西 和彦	高29
会計監査	半辺みつ子	高18
会計監査	森岡 ゆか	高33
顧 問	下野 憲英	高13
耐久R代表	西 博義	高19
事務局	白井 敏之	高34
事務局	湯田 良英	高34
事務局	井原 茂	高32
事務局	岡本 剛典	高55

平成 29・30 年度 有田耐久会役員名簿

役 職	氏 名	期
会 長	和泉 保廣	高22
副会長	山崎 佳彦	高22
副会長	勝丸 健司	高22
副会長	三角 治	高25
幹 事	池辺 正晴	高15
幹 事	鈴木 宏明	高28
幹 事	谷岡 義則	高29
幹 事	弓場 守	高30
幹 事	山田 展生	高31
会計監査	生駒 正剛	高34
会計監査	柳 実	高19
事務局	古川 友子	高26
事務局	宮井 順子	高28
事務局会計	大浦 睦美	高28
顧 問	下野 憲英	高13
顧 問	柏原 政夫	高19
顧 問	吉松 敏隆	高19

同窓会活動報告

2017(H29)年

9. 6 四役会（本校）
- 13 本部・有田耐久会合同役員会（本校）
- 17 本部同窓会・有田耐久会総会（湯浅町地域福祉センター）
10. 1 関西耐久会総会（ホテル大阪ペイタワー）
- 17 第3回「志学ゼミ」（学校）
- 21 稲むらの火祭り（雨天のため中止）
11. 24 きのくに学びの月間・学校訪問（授業見学）
12. 6 四役会（本校）
- 12 会報編集委員会（本校）

2018(H30)年

1. 2 組織強化支援事業高66期同窓会（橘家）
- 23 耐久リバースを支援する会（本校）
- 26 本部・有田耐久会役員新年会
- 30 会報編集委員会（学校）
2. 11 組織強化支援事業高38期同窓会（橘家）
- 28 卒業生クラス代表との懇談会（学校）
3. 1 第70回卒業証書授与式

支 部 連 絡 先	和歌山耐久会	関西耐久会	関東耐久会	有田耐久会
	会 長 田 辺 善 彦 〒640-8144 和歌山四番丁26番地の2 田辺法律事務所 Tel 073-431-2801	会 長 地 引 民 子 幹事長 宮 崎 裕 子 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台3-8-1 Tel 072-753-1219	会 長 大 野 博 司 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12-1002 株式会社 オフィス ココ 桜パンケット Tel 03-3359-9520	会 長 和 泉 保 廣 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148

志学ゼミ講師の先生方

卒業 年度	氏 名	勤 務 先	職 種
S59	青山 欽生	和歌山工業専門学校	教授
H11	石田 義貴	株式会社フォーラル	雑貨販売
H 7	石橋 昭人	済生会和歌山病院	理学療法士
H23	井上信太郎	善兵衛農園	農業
S41	上田さとみ	湯浅町教育委員会	スクールソーシャルワーカー
H11	小畑 智哉	PLUS ONE 有田川店	美容師
H24	栖井 智聡	日本赤十字社和歌山医療センター	看護師
H12	高垣 英紀	たかがき会計事務所	税理士
S58	田代 利彦	有田市役所副市長	公務員
S59	谷井 康人	谷井農園 経営	農業
H23	中前 匡揮	角谷整形外科病院	理学療法士
S24	西 博義	稲むら火の館・名誉館長	元衆議院議員
S59	原山 享大	(有)フィールドハウス	経営
S57	尾藤 佳	有田かまぼこ	経営
S60	御前 有美	有田市立病院	看護師
S57	宮崎三穂子	有田市役所福祉課	公務員
H12	森本 真輔	(株)丸十家具	経営
H 4	山家 敏宏	ヤマガ設計事務所	一級建築士
S53	弓場 守	湯浅広川消防組合	救急救命士

【敬称略】

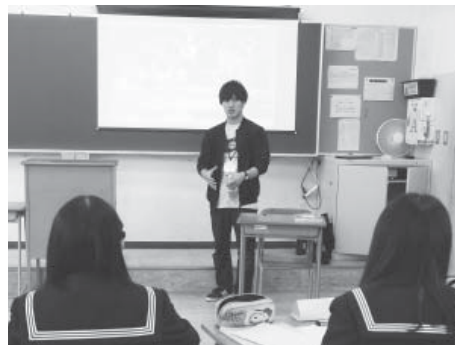
●対象…第1学年(201名)

●日時…平成29年10月17日(火)
12時45分～15時50分

●目的
社会の様々な分野で活躍されている本校卒業生の方々から、自らの「生き様」や「人や社会との関わり」等についてのお話をお聞きし、それに関して生徒が質問や感想等を出し合い、社会への理解や認識を深めることを目的とする。
また、現在のキャリアに至るまで積み重ねられてきた努力や葛藤、大切にされていること等をお聞きすることで、生徒が将来への展望や設計に対して、前向き、具体的に考えるきっかけとする。

第3回「志学ゼミ」

- 概要
約60分間のゼミを、生徒を変えて、2回実施。
●ゼミは、講師先生お一人と、約10名の生徒で構成。
●ゼミの内容は、上記目的に則した講師先生からの講話と、生徒との質疑応答等。
●各班ごとに1教室を使用。



●生徒感想文

【講師 弓場 守先生】

1年1組 駒方 瑞穂
救急救命士は本当に大変な仕事というものが分かりました。でも、大変な中でもうれしいことがあることも学べました。それと自殺は男女ともに10代から20代が多いと聞いて、私はなぜ自殺をするのだろうと思いました。自分たちが生まれる確率は720兆分の1だと教えて頂いてから、私はもっと自分を大切に、親に感謝しないといけないなと思いました。
将来の参考になったお話は「失敗したことに反省はしても、後悔はしない人生にする」という言葉です。この言葉を聞いて失敗をしましても、ずっと後悔したままではいられないと、次は成功するように前を向いて頑張りたいなと思いました。また命を大切に、親や、自分のことを支えてくれる周りの人に感謝して日々過ごそうと思いました。短い時間でしたがとても大切なことを教えて下さり、ありがとうございました。これからも頑張つて下さい。

【講師 田代利彦先生】

1年4組 亀井 健生
お話を聞いて、印象に残っていることは「何度失敗してころんでもすぐに立ち上がればいい」ということです。この考えはすごいと思います。また「失敗して遠まわりをしても、そこにしかない景色が見られる」という考え方もとてもいい考えだと思いました。今回お話を聞いて、僕も田代先生のように前向きに失敗をしてもそれで挫けないような生き方をしたい。



きたいと思いました。
僕たちのために、お忙しい中お越し下さり、本当にありがとうございました。今回お話を聞けたことは、とてもいい経験になりました。

【講師 谷井康人先生】

1年5組 大西 渚
先日は、お忙しい中来て下さり有難うございました。多くのこれから繋がる話の中で、私は「成功するための七つの秘訣」の六つ目「すべては自分が選んだ道」という言葉が心に残っています。最終選んだ道は自分で切り拓く、まさにその通りだなと思いました。どんなことも人のせいにならず、自分が選んだという自覚を持って頑張っていきたいです。また目標を決めてそこから逆算していくことが大切だと知り、家に帰って少し興味があったことを調べてみました。
今は進路に向けて頑張ろうと思つています。今まではつきりしなかった未来が少し見えたような気がしました。本当に有難うございました。

株式会社 地域創生 取締役社長 三角 治 (高25期) 〒643-0801 有田川町徳田183-16 TEL : 0737-22-4950 FAX : 0737-22-4951 E-mail : misumiosamu@aol.com	一般社団法人 絵本まちづくり協会 理事長 三角 治 (高25期) 〒643-0801 有田川町徳田183-16 TEL : 0737-22-3874 FAX : 0737-22-4951 E-mail : sgsc@arida-net.ne.jp	株式会社 柏原運送 柏 原 政夫美 (高19期) 〒643-0032 有田郡有田川町天満 60-1 TEL (0737) 52-5235 FAX (0737) 52-5630	丸新本家 1643-0004 有田郡湯浅町湯浅1466-1 http://www.marushinhonke.com 湯浅醤油(有) 1643-0004 有田郡湯浅町湯浅1464 http://www.yuassayouyu.jp
---	---	--	---

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を！

特集

二科展「ローマ賞」受賞

彫刻家 橋本和明 (高28期)



第102回二科展で橋本和明氏がローマ賞を受賞した。ローマ賞は、二科会員の彫刻部門の最優秀作品に授与される。文部科学大臣賞に次ぐ榮譽ある賞であり海外研修の機会が与えられる。学生時代からの憧れであり、同展への38回目の応募で受賞した。喜びとともに大きな責任も感じていると思いを新たにしている。受賞作品は「kanon—時を渡る」。ギリシャ語で戒律を意味する「kanon」は10年以上作り続けているシリーズで、13回目の応募で新作が受賞した。

作品は、高さ199cm、幅160cmの石膏像。すらりとした女性の背に板状の羽が伸びる、端正な姿だが頭部が欠けている。「人間の存在を追求し、強さ、はかなさ、痛みなど人の持つ諸々の感覚を粘土で形の中に封じ込めた」という。好きな彫刻は、ミケランジェロの晩年の未完作「ロンダニーニのピエタ（聖母像）」と法隆寺の「百済観音像」。製作中に二つの像が浮かび、その写真を傍らに置き作業した。

今回の受賞は、自らテーマを掘り下げ作品に向かい合ったことが高く評価された。「テーマは同じでもその年ごとの精神状態で作品は変わる。特に東日本大震災で大きな衝撃を受けた。人間の自然の前での弱さ、はかなさ、創作する意味を問い直した。悲しみ、喜び、痛み、祈りなどを封じ込め、今後も『人間の存在を問う』kanonシリーズを追求し続けたい」という。

子供のころから、絵を習い美術には興味を持っていた。耐久高校では中井由純先生に美術を教わった。瓦を作る土が粘土になる、土をこねるのが何ともいえず楽しかった。この経験が彫刻家へのステップになったのかもしれない。芸術学科への進学を目指した。担任には、芸術で飯は食えるかといわれ



たがやってみなければわからないと答えた。今から思うと初心に帰るという意味で、よく言ってくれたと感謝している。父親（元同窓会長・橋本佳巳氏）は「そうか」の一言で認めてくれた。このころはまだ彫刻をやるうとは思っていなかったが、金沢美術工芸大学には、彫刻科を志望し入学した。金沢は、四季の移ろいがあり特に冬の光景は緊張感をともしない思索する時間があった。凜とした雰囲気の中で彫刻に没頭した。大学院をあきらめ、恩師の「作品は自分の生まれた場所で作るのが一番」というすすめで地元に戻ってきた。この年、美術の教員採用試験はなく智弁学園の講師に採用された。

2002年に20年勤務した智弁学園を退職した。校務が多忙で創作活動がままならないのが理由だ。プロ彫刻家として活動していくことになる。彫刻家として一本立ちしていくことはきびしいが、彫刻をやっていた妻の後押しで決めた。

今は、彫刻の創作活動の他に、干支の動物をモチーフにしたブロンズ像など製作しています。今年は戌年で『三態の戌』を京都高島屋美術画廊に出品しました。これらは販売しています。ワインラベルも描いています。彫刻の世界と離れた時間

間も救いとなっています。京都の保育園で週一回教えている。大きな紙版面の共同制作、四つ切画用紙いっ



ぱいに自転車を描かせたりしています。が、子供たちに元気をもらっています。海外研修は「もう一度、目と精神を研ぎ澄ますためイタリアへ。ミケランジェロの足跡をたどり『ピエタ』にいたるまでの生き様を感じたい」

目下、正月返上で一月末の個展のため奮闘中である。「創作は、苦しいけれど楽しい。作品を見て静かな気持ちになって欲しい」というまなざしはやさしさに溢れる。橋本和明氏が、日本を代表する彫刻家に成る日はそう遠くないと強く感じた。

なお作品は、和歌山市の堀詰橋にある「天啓の宇宙（そら）」・智辯和歌山高校図書館の「開かれし扉」・海南警察署前の「内なる時空—羽化」など。是非、一度ご覧ください。

文責 坂本康寛 (高18期)

プロフィール

- ・1958年 湯浅町生まれ (高28期)
- ・1980年 金沢美術工芸大学彫刻科卒業
- ・1986年 第一回ロダン大賞展 優秀賞
- ・2000年 1999年度和歌山県文化奨励賞受賞
- ・2004年 平成16年度大桑文化奨励賞受賞
- ・2017年 第102回二科展 (国立新美術館) でローマ賞受賞



最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

懷かしくも樂しき秋日耐久會

「関西耐久会総会」――時空を超えて、耐久高校が再現！――

今回は、「ようこそ能楽堂へ」と云う演題で、山本能楽堂の能楽師山本章弘様と事

うこの大
変さを知る
ことができ
ました。こ
れをキツカ
ケに能楽の
ファンが増
えたのでは
ないでしょ
うか。

コ
い
い
ゝ

懇親会では、紀州の味覚を堪能しつつ、出席者からのお話やウクレレ演奏を楽しみました。さらに「みんなで歌おう」も加わり、毎年新しい試みや発見があります。107歳の有田高女6回生、端野静子さんが文子さんと一緒に写真参加してくれたことで、年齢層の幅がぐっと広がりました。各期ごとの写真撮影も大騒動ながらも無事終了。

150名が一つになる結集力の強さには大感動でした。これからも楽しい有意義な会にしていきたいと思っています。皆様、本当に有難うございました。次回に乞うご期待!!!

10月7日(日) 同じ場所でお会いできませんように！(ホテルの名称は変わりますが、場所は同じです。)

幹事長・宮崎裕子（高31期）



ていただいたのは感動的でした。また、日本の伝統芸能を守るとい



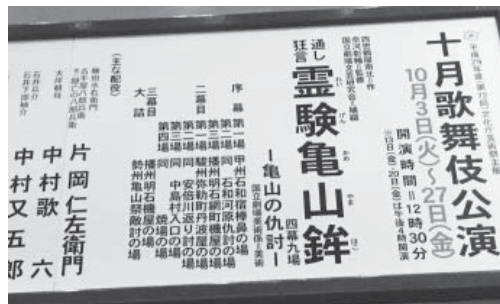
人間国宝 片岡仁左衛門の歌舞伎を鑑賞

関東耐久会は、

「本年度は山梨へ
山五合目へのバ
ス旅行」を開催
いたしました。が、
本年度（10月22
日）は久しぶり

に観劇会を開催し同窓生28名家族4名合計32名の参加をいただきました。観劇前に全員で早めの昼食を頂き、会員諸氏の近況報告もいただきました。又、家族の方からも、「関東耐久会の絆の強さをこの場所にきてあらためて認識しました」とのお話もありました。

観劇作品は、文化庁芸術祭主催の歌舞伎公演で仇討物の傑作「靈験亀山鉾―亀山の仇討―」で、12時30分開演で終演は16時でした。主役は、人間国宝十五代片岡仁左衛門で、テレビでしか見たことがない役者が身近で見られるのは感激でした。歌舞伎を鑑賞すること



も初めてでしたので、個々の場面については終演後にパンフレットでおさらいをして、なるほどと思った次第です。あいにくの雨でしたので、終演後の集合写真も撮影できていなく、先輩諸氏にお詫び申し上げます。代わりに演目の写真で代行させていただきます。

副会長 宮井義和（高25期）

総合ビルメンテナンス・特定人材派遣
(株)ウイ・キャン・コーポレーション
取締役会長 岡 伸 彦(高14期)
代表取締役 岡 勇 作(高19期)
大阪市旭区中宮4丁目14番9号
TEL 06-6954-0346
FAX 06-6954-0577

 ベットと泊まるログハウスの宿
Partners House Tokyo
パートナーズハウス ゆあさ
横山 享
(高14期)
湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL:<http://www.partnershouse.jp>

同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!

有田川温泉

 魚茶屋

有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151

小畑産業株式会社
代表取締役 **小畑 英三**
(高18期)
〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
ei-kobata@kbts.jp

田辺法律事務所
弁護士 田辺 善彦
(高14期)
〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2
TEL 073-431-2801
FAX 073-433-2299



高3期

高校3期生同窓会の報告

11月11日、耐久高校第3期生の同窓会を湯浅町で開催しました。当日は全員に通知はできませんでしたが東京から2名、それに四日市からの参加があり22名が集まりました。お互いの健康を称え、若かりし日を思い出しながら楽しく賑やかなひとときを過ごしました。

このところ毎年集まっていたが年齢85歳となり、物故者も60名を超えてしまいました。今回も30名の参加を見込まれていましたが、体調不



良や連れ合いの体調のためキャンセルが増えてしまいました。

思い浮かべれば私たち3期生は戦後の混乱期に高校時代を送ったのです。学校制度変更で、私たちは耐久高校併設中学校卒業という特殊な状況から入学したのです。1期生2期生は途中編入なので、3期生は高校生活を3年間過ごした実質的な第1期生なのです。

その中学3年は広川町広にある旧制耐久中学校の津波の被害を受けた荒れ果てた校舎で学び、私たちの心もすさみいろんな出来事や事件もあつてたいへんな中学高校生活を送ったのです。そんな思い出も遠い昔となつてしまいました。

会合終了後、遠路参加者とともに「ほたるの湯」へ有志が集まりました。食事後、昔の写真をテレビに映し、亡くなられた先生や友人たちを懐かしみました。今でこそ言える昔の秘話もいっぱい飛び出しました。またここでの朝食の茶粥は、昔よく食べた味を思い出し美味しかったです。

なお、今回をもって第3期同窓会としての活動を終了することに決めました。長い間支えてくれた友人たちに感謝します。

幹事代表 岩崎 好宏

(添付の写真は平成28年に和歌山市のホテルで開催した時のものです)



高16期

全日制16期(昭和39年3月卒業 4・5組同窓会)

卒業後6回目の同窓会を、平成29年9月10日12時から有田市の「橘家」で開催した。始めに、14人の物故者の冥福を祈り全員で「黙祷」を捧げた。

幹事代表から、36名の参加を得て開催できたことの感謝と卒業してから53年が過ぎ高年齢者と言われる年齢となったが、今日は、年齢のことは忘れ青春時代に思いをはせ、多いに語り、楽しんでくれるよ



うにとの挨拶の後、八王子市から出席の小槇達男さんの乾杯の音頭により宴がスタート。久しぶりに顔を合わせての歓談で多いに盛り上がる中、出席者全員から近況報告があり、欠席された皆さんから寄せられた近況(一覽を配布)により、会場の雰囲気さがさらに盛り上がった。

また、昭和20年代の有田地方の写真や校舎(当時と今)、在学中のスナップ写真、過去の同窓会の集合写真等をスクリーンに映し出当を思い起こし、「当時の校門」の写真の場面で、三尾和子さんのピアノ伴奏で校歌を斉唱した。

最初から大変な盛り上がりで、あつという間に時間が過ぎ、次回の幹事を指名し、健康に留意し、元気で再会できることを誓い合い、予定の15時に閉会した。

引き続きの二次会(参加者33人)では、カラオケと歓談でいっそう盛り上がり、最後に、参加者全員で「青春時代」を歌って散会した。

幹事代表 大西 幸男

有限会社
衣奈不動産鑑定所
不動産鑑定士 衣奈 伸和
(高18期)
〒643-0004
湯浅町湯浅2026-5 豊園ビル
TEL 0737-65-3066
FAX 0737-62-4066

日本料理 **いそ丸**
前田利三 (高12期)
有田郡湯浅町片倉前
TEL 0737(63) 2929

MSC 経営サービス協同組合
理事長 東 猛 嗣
(高21期)
〒642-0032 海南市名高502-3
TEL 073-483-7874
FAX 073-483-1015

あづま
東 猛 嗣 (高21期)
●海 南 店 / 海南市日方1521-19 TEL 073-483-5535
FAX 073-483-5556

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。

組織強化支援活動



高66期
第66期同窓会

平成30年1月2日(火)に橘家にて66期同窓会を開催致しました。

卒業4年後、22歳になる年の開催は、耐久高校では恒例となっています。私たち幹事団は卒業前に決定しており、同窓会開催の半年ほど前に顔合わせをするため、SNSを用いて連絡を取り合い、その後打ち合わせを数回行いました。幹事団の中には遠方で暮らしている人や、仕事や学業など都合上打ち合わせに参加できない人がいたため、SNSで情報や意見交換を行い、内容や役割を決めました。

師7名、計155名の出席となりました。開会には川崎葵くんより幹事代表挨拶、恩師に記念品としてソーフラワーの贈呈、恩師代表として上田芳裕先生からお言葉を頂き、酒井環先生より乾杯のご発声で、いよいよスタートしました。

当日の主なイベントはビンゴ大会、No.1グランプリ、DVD上映を行いました。ビンゴの景品は当日の参加人数から予算を決定し、約30個用意しました。目玉となる商品もいくつかあり盛り上がりしました。No.1グランプリは、「美男美女・卒業してから変わった人・高校時代話したかった人・有名な人になってほしい人・面白い人」といった内容を当日の参加者の中から男女1人ずつをアンケートにて決定しました。No.1になった人には前に出てきて、それぞれ一言ずつ話してもらい楽しく盛り上がりしました。DVD上映では、高校時代の写真が集まらず、当日参加できなかった恩師からのメッセージを披露しました。

その後、橘家のご厚意にてカラオケをさせていただきました。歌や踊りなど熱気が高まっていたように感じます。約3時間があつという間で終始笑顔が絶えない同窓会は吉田葵さんの幹事代表挨拶により閉会しました。

また、第二回の同窓会を2026年(30歳になる年)に開催するために、次期幹事団を今回の幹事団の推薦により決定しました。

今回の同窓会を通じて、改めて仲間の良さ、大切さを感じたことでしょう。高校時代にとともに過ごした時間はかけがえのない思い出となりこれからの糧となることでしょう。そして、それぞれが更に成長した姿で次回集まれる日を楽しみにしています。

幹事代表 上野 真味

高22期
黒潮の海でクラス会



平成29年10月1日、第15回のクラス会を開きました。卒業後の47年間でこの回数。改めてクラスの仲の良さを感じた次第です。初めの頃の会は、会場に集まって食べて飲んで話をするだけ。それでも充分楽しかったけど還暦を過ぎるころからは印象に残るイベントを取り入れるようになりました。

4年前は「稲むらの火の館」の見学、また「広村堤防」では濱口梧棲さんが堤防工事を通じ村人・広村を守ろうといろんな方策を考え実行したことをお聞きし改めて濱口梧棲さんの偉大さを知りました。

2年前の黒江の『漆器のまち』巡りでは郷土の伝統美に触れ、そして今回は、海南の県立自然博物館を見学、目的は単なる観賞ではなく、学芸員さんから普段は入ることができない舞台裏を案内して頂きました。大水槽の構造や、標本用の魚類を保管している冷凍庫を見学。また、サメの雄雌の見分け方、最北限に生息する富田川の大ウナギの話は興味深くお聞かせ頂きました。

孫を連れて来て今日の話をしあがれば尊敬されること間違いなしと満足して博物館を後にしました。

宴会は2時間程でしたが従来どおり飲んで食べて、腹の底から笑い合える楽しい時間を過ごしました。2年後の再会を約束し、出来たばかりの集合写真を手に解散となりました。

幹事 宮本 則昭

ブランド古着買取販売 **ストスト** 洋酒

もらったけどそのままになっている洋酒、ご自宅にございませんか？
高価買取致します
TEL 0120-54-8686
お問合せ受付時間 11:00~18:00
〒641-0036 和歌山市西浜875-2 定休日(土・日・祝)

医療法人 大和会 **宮井クリニック** 宮井 将博(高34期)

(一部予約制) 泌尿器科 一般外科
TEL 0737-22-3333
〒649-0433 和歌山県有田市宮原町須谷533-1
診療時間 午前9:00~12:00 午後4:00~6:30 休 診 木、土、日・祝日

橘家 TACHIBANA 橋 爪 正文(高39期)

ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL <http://www.tatibanaya.jp>
〒649-0434 有田市宮原町新町17

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。(事務局)

28 年度予算・決算書

耐久高等学校同窓会

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

1. 収入の部

	28 年度予算額	28 年度決算額	増 減	備 考
入 会 金	1,025,000	1,025,000	0	全日制 201 名 * 5,000 定時制 8 名 * 2,500
会 報 広 告	100,000	138,980	38,980	会報 3 8 ・ 3 9 号広告代
会 報 協 賛 金	150,000	108,870	-41,130	有田耐久会他より
寄 付 金	150,000	60,000	-90,000	
雑 収 入	30,000	4,923	-25,077	預金利息他
収 入 計	1,455,000	1,337,773	-117,227	
前 期 繰 越 金	914,641	914,641	0	
収 入 合 計	2,369,641	2,252,414	-117,227	

2. 支出の部

	28 年度予算額	28 年度決算額	増 減	備 考
1. 運 営 費				
会 議 費	20,000	0	-20,000	
渉 外 費	30,000	15,216	-14,784	タイムス広告費
負 担 金	40,000	31,000	-9,000	県高等学校同窓会連絡協議会参加費他
旅 費	100,000	104,560	4,560	各支部総会出席旅費他
運 営 費 計	190,000	150,776	-39,224	
2. 活 動 費				
総 会 費	0	0	0	
母 校 援 助 費	600,000	306,873	-293,127	耐久梧陵文庫整備費・全国大会出場祝他
同 窓 会 報 費	600,000	458,922	-141,078	会報 3 8 ・ 3 9 号印刷、郵送代他
助 成 費	150,000	124,480	-25,520	各支部・期への援助
雑 費	140,000	10,852	-129,148	振込料他
活 動 費 計	1,490,000	901,127	-588,873	
3. 諸 費				
事 務 費	40,000	10,705	-29,295	切手、はがき代他
慶 弔 費	80,000	23,114	-56,886	弔電・供花他
払 戻 金	50,000	35,000	-15,000	転出生払戻
諸 費 計	170,000	68,819	-101,181	
支 出 計	1,850,000	1,120,722	-729,278	
4. 繰 出 金				
基 本 金	103,000	102,500	-500	きのくに信金定期へ
積 立 金	100,000	100,000	0	ゆう貯定額へ
繰 出 金 計	203,000	202,500	-500	
5. 予 備 費	316,641	0	-316,641	
支 出 合 計	2,369,641	1,323,222	-1,046,419	
次 期 繰 越 金		929,192		

同窓会会計について

※収入…28 年度は、入会金として全日制 5,000 円・定時制 2,500 円を終身会費として頂いています。(中途転校・退学の場合は返金) 他に同窓生各期や個人からの協賛金や寄付金など。

※支出…クラブ支援、国際交流、講演会、会報などの学校援助に直接・間接に還元。卒業後は、同窓生間や母校の情報を名簿や会報を通じて提供、各期の同窓会開催に援助、母校の支援、会の運営費ほか。

郵便振替口座の開設について (口座番号) 00900-5-298293 (口座名称) 和歌山県立耐久高等学校同窓会 (加入者払込局) 湯浅郵便局

絆 剣道部の巻

耐久高校剣道部は、現在、三年生が男子3名女子1名、現役部員が男子4名、女子1名です。部員は「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」の理念と、「剣道を正しく真剣に学び、心身を錬磨して旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて礼節を尊び、信義を重んじ誠を尽して常に自己の修養に努め、以って国家社会を愛して、広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである」の心構えのもと日々真剣に稽古に取り組んでいます。また、耐久高校剣道部員として、本校の「真健美」の理念と、「文を修め、武を練る」の校風通り、文武両道を目指し勉学との両立をめざして活動しています。

本年度6月の県高体連総合体育大会（全国・近畿大会予選会）では、田辺高校に僅差で破れ、5位入賞（ベスト8・近畿大会出場）を逃しました。当時は本当に悔しい思いをしました。一本の重みを身をもって分かり、自分たちの取り組みを見直す、良い機会になりました。その後、新チームになり1月に行われる新人戦での5位入賞を目標に、県内外の高校との合同稽古を積極的に行いました。また、OB・OGの先輩方に稽古、激励して頂き、着実に力をつけることができました。

新年早々の1月の新人戦では、和歌山県高校との接戦に勝利し、準々決勝で桐蔭高校に敗れましたが、目標であった5位入賞を果たすことができました。

顧問 上田 秀人



大漁
朝やけ小やけだ 大漁だ
大ばいわしの 大漁だ。
浜は祭りの ようだけど
海のなかでは 何万の
いわしのとむらい
するだろう。
つもった雪
上の雪 さむかるな。
つめた月がさしてゐて。
下の雪 重かるな。
何百人ものせてゐて。
中の雪 さみしかるな。
空も地面もみえないで。

ま

同窓 俳壇

山茶花の湯けむり淡し旅の宿

衣奈伸和 (高18期)

今昔の古き町並み難見つめ

藤本 嗣子 (高22期)

同窓 歌壇

二科展の受賞の君を祝う夜

銀色の雨に傘まわし帰る

坂本 康寛 (高18期)

・百歳を積み重ね来し母の笑み

懐古の中で新元号待つ

池 永義子 (高21期)

これは金子みすゞさんの詩である。

今から十数年前、彼女の生まれ故郷である山口県の仙崎を訪れた時にこの詩と出逢った。思わず「はっと」させられたことを今でも鮮明に覚えている。

鋭い感覚、豊かな感性、やさしさと思いやりにあふれた、彼女の人間性にふれる貴重な出逢いとなった。

訃報

和歌山耐久会幹事長として長らくご尽力下さった、中田實宏氏（高17期）が昨年12月1日ご逝去されました（享年72歳）。生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。

『編集後記』

表紙は二科展でローマ賞という栄誉に輝いた作品「Kanon—時を渡る」。作者は、湯浅町在住の彫刻家橋本和明氏（高28期）です。特集では、橋本氏の造形への弛まぬ努力、創作活動の厳しさと喜びが読み取れ、貴重な内容となっています。ご一読下さい。

氏の父は本部同窓会会長を長く務められ、この同窓会報育ての親でもある故橋本佳巳氏です。今回の表紙と特集を組むに当たり感慨を覚えました。

紙面では、日米協会第一回金子堅太郎賞に輝かれた、本校元校長敷添泰弘氏の交換留学や海外交流活動の紹介、感想文からも充実ぶりが感じられる第三回「志学ゼミ」も取り上げました。

関西耐久会、関東耐久会の熱気と工夫された活動ぶり、各期同窓会の楽しい宴の様子、学舎であった耐久高校での時間空間が太い絆となつていていることを実感しました。毎回興味深い部活紹介、情感豊かに表現された俳句や短歌、盛り沢山な会報紙面が作られました。

なお、過去の同窓会報は、同窓会ホームページでご覧いただけますので、是非ご利用ください。

最後になりましたが、会報発行に際し、多くの方のご支援・ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

